

■平成 25 年 12 月 4 日 第 19 回一志会を開催しました

一志会は、「公の精神」のもとに積極的に社会的責任を果たそうとの想いを共有する大企業経営幹部の会員制の「コミュニティ」ですが、12月4日に第19回例会を開催しました。



三屋氏

今回のゲストは、一柳のテレビ番組にも度々ご出演いただいているバレーボールのメダリストでスポーツプロデューサーの三屋裕子氏をお迎えしました。

この日は北日本大震災発生から 1,000 日目に当たりますが、三屋氏の卓話「こころとからだの健康、そしてオリンピック」は、その大震災発生の直後から「自分たちでできることはないか」と仲間たちと計らい、被災者に寄り添い、被災者のこころとからだのケアに少しでもお役にたとうとしての被災地訪問ボランティア活動を継続している中で、運動・体を動かすことの素晴らしさ、効果の大きさを再認識した、とのお話から始まりました。

そして「人はなぜ太るか」ということを車のエンジンに譬えたわかりやすい説明があり、いかに緩やかに老いていくか、その老い方が健康につながることで、さらには企業も全従業員を対象とした「健康経営」が課題になっていること、ストレスとの上手な付き合い方などについてユーモアたっぷりに話され、最後に 2020 年の東京オリンピックは超高齢化の下での開催であることから、国民が「スポーツを通じて自分の健康は自分で守る」契機になってほしい、と締められました。お人柄そのもののさわやかな語り、会員はすっかり引き込まれて聴き入りました。

会員の交流時間帯では、まず新規会員の岡本・日本軽金属取締役常務執行役員から自己紹介がありました。続いて、杉山・資生堂執行役員から、大評判となっている新商品「エリクシール 美容濃密液」の紹介があり、ご提供いただいた新商品と一柳アソシエイツ提供の香りの良い紅茶を巡ってのミニ抽選会を行い、大いに盛り上がりました。この後、当選者をはじめとし出席者全員から近況報告があり、予定時間を過ぎるまで、和気藹々の交流が続きました。



岡本氏



杉山氏



(ゲスト紹介)

三屋氏は、バレーボール全日本代表の主軸選手としてロサンゼルスオリンピックで銅メダルを獲得されるなどスポーツ選手として輝かしい実績を持っていますが、さらに大学院でスポーツ科学を専攻した後、「筑波スポーツ科学研究所副所長」としてスポーツの意義・役割、そして市民レベルでの普及に努めておられます。現在は、スポーツプロデューサーとして、またテレビ、ラジオなどでも幅広く活動するとともに、日本バレーボール協会女子育成強化委員会ディレクターとして後進の指導に当たっていますが、「身体を動かすことに心がけることで誰もが一番の願いである健康を保つことにつながる」との熱い想いで地道に取り組んでいることに、一柳も共鳴してお付き合いしています。